



新潟県ソウル事務所発



韓国レポート

2018.12.19

<第10回レポート>

大地の芸術祭をテーマとした最高級アートツアー開催

韓国大手旅行会社の1つで主に富裕層向けの旅行商品を取り扱っている韓進観光が、3年に1度十日町を舞台に開催される「大地の芸術祭」をテーマとしたアートツアーを、11月15日(木)から3泊4日の旅程で行いました。

今回のツアーは、芸術をテーマとしたツアーの商品化を考えていた韓進観光に、ソウル事務所が「大地の芸術祭」を紹介し、十日町市芸術祭事務局の協力によりセールスを行った結果、商品化につながりました。新潟県は韓国からのインバウンド観光推進に力を入れ、日ごろから韓国旅行会社への新潟旅行商品造成に向けたセールスを行っており、今回の商品化はセールスを続けてきたことが成果につながったものであり大変うれしく思っています。

さて、今回のツアーは、大地の芸術祭の作品鑑賞をメインとしたツアーであるため、ツアー参加者5人に対して同行ガイド(通訳)1名のほか、展示作品の説明役としてアートガイドが1名帯同し、十日町、川西エリアの3か所の作品と松之山エリアの清津峡溪谷トンネルのほか、美術館や歴史資料館を巡る内容でした。参加者からは、「同行したアートガイドから作品の趣旨や特徴など詳細な説明を聞くことができ、作品へ一層の興味関心が深まった。」など、大地の芸術祭の作品を存分に楽しめるツアーだと、とても高評価でした。

宿泊先である南魚沼市の古民家をリニューアルした「里山 十帖」では、新潟の里山に囲まれ落ち着いた雰囲気のあるモダンな雰囲気の中、雪国ならではの太い梁と柱の家づくりに驚き、自然と調和した施設の中でゆったりと過ごす時間が大変心地良かったと、こちらも反応は上々でした。

また、新潟の里山の恵みである山菜や生産者が手塩にかけた野菜などを使った料理では、食材本来の味がしっかり生かされていることに大変満足されておりました。

参加者からは、大地の芸術祭の素晴らしさをはじめ、新潟の里山といった自然の中での良さを知っていただくなど、新潟県に一層関心を持っていただけたものと感じており、リピーターとして他の地域にも興味を持って足を伸ばしていただきたいと願っております。

今後もソウル事務所では、韓国の旅行会社にはまだ知られていない観光地や観光ルートに関する情報提供など、新潟旅行商品造成に向けた働きかけを行い、新潟県への観光客増に向けた取組を継続していきます。



「光の館」2日目に鑑賞



「清津峡溪谷トンネル」3日目に鑑賞